

# ふるさと研究ニュース

2011年2月 第20号

所沢市生涯学習推進センター  
ふるさと研究グループ

「ふるさと研究活動」は、子どもからおとなまで、幅広い世代の市民のみなさんの参加により、ふるさと所沢の自然・歴史・芸術・文化・産業など、様々な分野の資料や情報を集め、調査・研究を深めてゆく活動です。「所沢のことをなんでも知りたい！」方のご参加をお待ちしております。

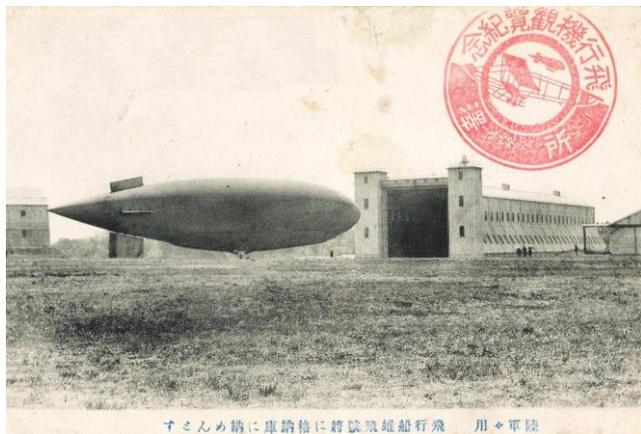
## いよいよ冬季企画展開催！



所沢航空発祥100周年記念

# 絵葉書で見る所沢の航空100年

明治44年（1911年）4月、日本で最初の飛行場が所沢に開設されてから、今年は100周年にあたります。この記念すべき年にあたり、所沢飛行場時代、数多く発行された絵葉書200点以上を展示し、所沢の航空の歴史を振り返ります。彩色絵葉書や複葉機、所沢の街並みなど、珍しい絵葉書がいっぱい。必見です！



すこゝめ納に庫納格に貯試飛艇船行飛 用←軍陸

### ↑大正時代の飛行船「雄飛号」と格納庫

### 展示トークも開催します

展示資料にちなむお話し会を開催します

- ①「彩色絵葉書の世界」（飛行機愛好家・加藤寛之氏）  
3月6日（日）午後2時～
- ②「航空写真家・喜多川秀男伝」（喜多川方暢氏）  
3月11日（金）午後2時～

いずれも当日先着20人（会場 3F企画展示室）

市役所本庁舎1階市民ホールではアンリ・ファルマン機2分の1復元模型展示中！！

2月にご覧いただける展示など

場 所	内 容
常設展示室	所沢の歴史・民俗・自然など
メモリアルルーム	並木東小学校の「記憶」
南棟3階階段脇掲示板	写真で見る所沢の移り変わり その2
3階中央棟廊下壁 今月の航空写真	昭和30年代の所沢市全域

所沢市生涯学習推進センター ふるさと研究グループ

Tel:04-2991-0308 Fax:04-2991-0309 Mail:b29910308@city.tokorozawa.saitama.jp

秋季企画展「ところざわ60年」では、市制施行後「所沢市」60年の歴史を追う三択クイズ60問を配布しました。その中から、基本となる12題を2つずつ6回に分けてご紹介します。

**Q** 自動車の所沢ナンバーが誕生したのは何年ですか？

- ①昭和45年 ②昭和57年 ③平成元年

### 正解 ②

意外に昔から所沢ナンバーがある、という感想を持たれる方が多いようです。この昭和57年という年は、現在の国道463号線沿いの大字松郷に埼玉県陸運事務所所沢支所が開設された年で、大宮ナンバーから分かれる形で所沢ナンバーが誕生しました。ちなみに大宮ナンバーは、昭和50年の熊谷ナンバーの誕生で、「埼」ナンバーを変更したものです。なお、川越ナンバーは「ご当地ナンバー」という制度を利用して、平成18年に誕生しています。

**Q** 所沢商業高校が甲子園に初出場した時の対戦相手は？

- ①PL学園 ②仙台育英高校 ③東北高校

### 正解 ③

同校は現在までに3度甲子園の土を踏んでいますが、③の宮城代表東北高校は昭和51年の初出場時の相手、②の先代育英高校は53年に出場した時の2回戦の相手です。この時の初戦は佐賀県小城高校で、待望の初勝利を上げての2回戦進出でした。そして名門PL学園との対戦は昭和58年の3度目の出場の時です。

昭和54年に西武ライオンズ球団が所沢に進出したこともあり、所沢は「所商」ブーム、野球ブームに沸きました。

## 二・二六事件と所沢

ふるさと研究市民トピック vol. 20

二・二六事件は、昭和11年（1936）2月26日、陸軍の皇道派といわれる青年将校らが当時の岡田啓介首相ら主要閣僚の殺害を謀った反乱事件です。事件は、高橋是清外相と渡辺錠太郎教育総監らが殺害され、鈴木貫太郎侍従長が重傷を負ったものの、4日で終息し、関与した将校は処刑、関係者も処罰されるという結末でした。この事件により陸軍は返って強固なものとなり、その後政権内部で主導権を握ることになったとされます。

この事件は、参加した将兵1,500余人のうち、半数が埼玉県出身者でした。また所沢からは、飛行学校の将校で河野寿大尉が事件に関与しました。河野大尉は、所沢飛行学校第57期操縦学生で、反乱軍の決起に賛同し、湯

河原の伊藤旅館に宿泊中の牧野伸顕前内大臣を襲撃したグループ8名のリーダーでした。しかし、河野は襲撃の際、警護の警官に反撃されて負傷。治療を受けた病院で自決しました。河野大尉の実兄司氏はその後事件に関する資料を収集、遺族会の会長となるなど、事件を後世に伝えることに尽力しました。（国会図書館憲政資料室に「河野司氏収集資料」として収蔵されています）

一方、所沢飛行場からは、事件4日目に八八式偵察機が飛び立ち、反乱軍へ帰順をうながす「下士官ニ告グ」と題するビラが撒かれました。反乱軍はこの後、投降していることから、ビラの効果があったのかもしれませんが。参考文献：『二・二六事件と郷土兵』（埼玉県）ほか